

# 自治ひょうご

1661号

2024. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

## 当面の日程

- 20日 働く女性の交流集会(ひょうご共済会館)
- 22日 兵退連定期総会(高砂市・鹿島殿)
- 26日 県本部黒豆収穫祭(丹波篠山市内)
- 30日 連合兵庫地方委員会(ラッセホール)

発行 全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920  
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



## シリーズ「尾西が斬る」

終 統一闘争の必要性とは

### 次の闘争へのタネをまき続けよう

【年5回の統一闘争】  
県本部は、春闘(3月)、人員確保闘争(6月)、現業・公企統一闘争(6月・10月)、確定闘争(11月)、反行革・予算要求闘争(1月)の年間5回の統一闘争を設けています。

各闘争では、県本部が統一交渉日・行動日を設定します。「行動」とは、ストライキや29分時間内集会など、交渉を有利に進め、要求を実現させるための様々な取り組みです。

スト批准投票で確立された指令権を持つ中央本部が、各単組に対し行動配置を指示し、単組はそれを背景に交渉に臨みます。

多くの単組が統一行動日に結集し、連携しながら一斉に交渉することで、当局にプレッシャーをかけ、一方的に交渉を進めさせないようにします。

また、統一闘争では、統一要求書、要求に対する獲得目標(妥結基準)を設定されます。統一した獲得目標の実現に向け、同日に交渉を行うことで、単組は他の単組の状況を意識しながら、粘り強い交渉を進めることができるのです。

【統一闘争を年中行事に】  
統一闘争を地域の年中行事である「祭り」に例えてみるのはいかがでしょうか。地域の繁栄や人々の幸せを願う「祭り」は、地域の慣習として、世代間で受け継がれてきました。仕事を休み、家事の都合をつけ、準備から当日、後片付けまで皆で協力しながら「祭り」を作りあげていきます。

兵庫県本部もすでに70年の歴史のなかで統一闘争を繋いできました。これからの30年、50年を見据え、各地域の人々の生活を支える自治労組合員が、安心して働き続けられることを願う「祭り」は、地域の慣習として、世代間で受け継がれてきました。

【シリーズ最終回に寄せて】  
要求は簡単に実現しませんが、決して諦めないでください。「何事もそれが成功するまでは不可能に思えるもの」(ネルソン・マンデラ)です。また次の闘争が巡ってきます。小さくても成果を積み上げ、一歩前へ進むためのタネをまき続けましょう。

短期間のシリーズでしたが、お付き合いありがとうございました。

その後、戎剛県本部副委員長から①給与の引き上げ改定、②賃金水準の維持改善の観点から独自の措置を講ずる、③38歳4級到達、④中途採用者の賃金改善、⑤会計年度任用職員の週及改定の5つの重点課題を説明。「必ず交渉し、妥結した内容は書面で残す。ラス100を最低到達目標として105をめざす。地域手当は人勧を最低とし県内最高水準での支給をめざす。会計年度任用職員についても正規同様の支給を求める。扶養手当、通勤手当等については組合員の意見を反映



参加者からの質問に答える亀瀧さん(左)

8月8日の人事院勧告を受け、県本部は10月2日に完全ウェブ方式で単組代表者会議を開催し、意思統一を行った。

山下忠之県本部委員長は「参議院選挙も迫ってきているが、県本部推薦・支持候補の必勝をめざしてほしい。県知事選挙もあるが、連合兵庫に結集しながら取り組んでいきたい。そして生活の維持・改善に向け、全単組一体となり取り組んでいこう」とあいさつした。

後、自治労本部の亀瀧真人労働条件局長から報告ポイントの説明を受けた。

障害労働者評議会は9月21日、姫路労働会館において、第40回自治体に働く障害労働者のつどいを開催した。

主催者を代表して河合良宣議長から「今年度は姫路市内で交流会を開催し、播磨ブロックの各単組との情報交換を行った。こうした取り組みをきっかけに、幹事会体制の強化や評議会の活性化を図らなければならぬ。各単組においても、安心して働き続けるためにも障害者職員の組織化をめざすことが大切だ」とあいさつした。議事では2024年度活動方針・役員体制を提起し、それぞれ全体の拍手で承認された。

総会終了後、障害者問題を考える兵庫県連絡会議の風俗之事務局次長から、障害連での対兵庫県・対神戸市のオールラウンド交渉等の取り組みや課題について、風さんの経験を交え講演を受けた。

## 県本部単組代表者会議

# 5つの重点課題に注力を

## ラス100を最低とし105到達に取り組む

その後、戎剛県本部副委員長から①給与の引き上げ改定、②賃金水準の維持改善の観点から独自の措置を講ずる、③38歳4級到達、④中途採用者の賃金改善、⑤会計年度任用職員の週及改定の5つの重点課題を説明。「必ず交渉し、妥結した内容は書面で残す。ラス100を最低到達目標として105をめざす。地域手当は人勧を最低とし県内最高水準での支給をめざす。会計年度任用職員についても正規同様の支給を求める。扶養手当、通勤手当等については組合員の意見を反映

三田市議会議員選挙結果  
橋本さん見事初当選

9月29日に投票された三田市議会議員選挙は、定数22に対し33人が立候補する激戦りとなった。

県本部は三田市職労出身で前阪神淡路ブロック事務局長の「橋本いぶん」さんを推薦決定し、三田市職労を中心に選挙戦を取り組み、橋本さんは1536票を獲得し、12位で見事初当選を果たした。

この時期は定期大会が目白押しだ。ここ数年、書面決議や参加者を限った大会が多かったが、Face to Faceで熱量を伝える姿勢がみえる。時代の変化に応じて取り組み手法の適応は必要だが、労働組合が取り組む本質は変わらない。単なる前例踏襲ではなく、前例の中で大切にしているものがあるとの判断だろう。1年間の方針への熱量を対面で伝える大事さを感じた。県本部定期大会での多くの発言で確定闘争など当面の闘争方針や政治闘争の方針も豊富化し確立した。政治の課題は衆議院や県知事選挙で騒がしい。コラムを読むのは衆議院選挙の告示日以降だが、衆議院選挙では8区を除き1区から10区まで推薦候補があり、組合員に推薦候補が浸透するかが重要だ。県知事選挙は県本部として「稲村」さんの支持を予定している。確定闘争も選挙も熱量をもって組合員に伝えよう。

**いまいち座**  
困難を乗り越えて...

大植 賢(豊岡市職労)



つどいの参加者

総会終了後、障害者問題を考える兵庫県連絡会議の風俗之事務局次長から、障害連での対兵庫県・対神戸市のオールラウンド交渉等の取り組みや課題について、風さんの経験を交え講演を受けた。

### 青年部定期総会

## 親しみやすい青年部活動を インスタやYouTubeを活用

青年部は9月29日、ひょうご共済会館で24単組35人が参加し、第35回総会を開き、インスタやYouTubeなどを活用した「親しみやすい青年部活動を発信していこう」と確認した。

開会にあたって今村龍乃介青年部長は、「行き過ぎた利益追求やサービス向上は、価値観を歪めてしまう。働く者が犠牲になっていないか、組合の学習と交流で確認しよう」と述べた。

青年部は、「学習」「平和」「交流」「新規企画」の4部会をつくら取り組みを進めている。経過報告では各部会がパワポを使って



新年度の青年部執行部

発表。「秋期決起集会では、青年部女性部の対県交渉を寸劇にしてわかりやすく伝えたい」と説明した。

議案討論では、県職労から「県議会の百条委員会を推薦議員の会派が声をあげて設置された。知事問題では自分たちの声を届けてくれる議員の大切さを痛感した」と発言があった。



### 県本部労働学校

# 組合強化は要求することから

## 要求―交渉―妥結のサイクルを学ぶ

「単組執行部強化」「次世代育成」をめざし、6月の労働学校・基礎編に続き9月27日、神戸市内で「実践編」を開催。県内から16単組24人が参加し、要求書づくりから交渉までの流れを学んだ。

開講にあたり、主催者の足立育生副委員長は「今回の労働学校で交渉サイクルの確立、賃金労働条件の向上、組織拡大などにつなげてもらいたい。また、模擬

交渉では交渉術を持ち帰ってほしい」とあいさつを行った。その後、講義「労使交渉のススメ」を尾西亮太郎書記長が行った。交渉に焦点を当て、労働組合の必要性について説明。その後グループに分かれた参加者へ交渉課題が与えられ、どの部分が重点なのかを議論し要求書づくりを行った。

要求書が完成したのち、当局へ要求書提出と主旨説明のための事務折衝を実施

し、第1回目の模擬交渉に挑んだが、県本部教宣委員が担当する当局は巧みに組合の要求をかわし継続協議とした。

第2回交渉では、妥結に向け再度交渉を行った。交渉終了後は、各グループへ交渉のポイントなどアドバイスが行われた。参加者からは「交渉に臨むまでの準備が重要」「まだまだ勉強不足。引き続きがんばりたい」との感想が聞かれた。

### 町職連協総会

## 県内最高水準の地域手当をめざす 統一闘争に結集し、要求前進を

町職連協は9月21日、稲美町コミュニティセンターで第53回定期総会を開催し、県内町職単組から34人が参加した。冒頭、石田義浩議長は「人事院勧告で兵庫は地域手当4%に指定された。多くの町では、引き上げとなってくるが、引き



あいさつする石田議長

## 女性部定期総会 新部長に澤田さんを選出

女性部は9月29日、ひょうご共済会館で26単組40人が参加し、第28回定期総会を開催した。

総会は、県本部の山下忠之委員長、I(アイ)女性会議の小城智子さんより激励のあいさつを受け、経過報告、運動方針、当面の闘争方針を賛成多数で承認し、役員改選では15年間女性部長を務めた藤原潤子さん(明石市職労)が勇退し、新たに澤田典子さん(たつの市労連)が選出された。

退任のあいさつを行った藤原部長は「女性部でとても楽しく活動できた。今日まで元気で働いてこられたのは、組合活動をする中でしっかりと休暇取得し、定時退庁して自分の時間を充実させることができたから。みなさんも組合活動をする中で楽しい毎日を送ってほしい」と述べた。

総会後の交流会ではグループに分かれ「その働き方で、定年まで働けますか?」をテーマに、市町や職種の違い仲間同士で意見交換し、交流を深めた。各グループから出された人員不足や休暇取得のしづらさ等の意見を踏まえ、今後の要求へ繋げていくことを確認した。



退任あいさつをする藤原さん

【岸まきこ】 YouTube 「きしまきちゃんねる」登録をお願いします!

参議院議員(自治労組織内)

**岸まきこ**

下げとなる町もある。町職連協は引き下げをさせず、また引き上げを確実に実施させるため、統一闘争に結集してほしい」とあいさつした。県本部からは尾西亮太郎書記長が駆けつけ、激励のあいさつを行った。

経過報告の提案に対し、佐用町職から「初任給改善と在職者調整の実施。中途採用者に対する履歴換算の改善」の取り組み報告があった。新年度方針を提起した国広大樹事務局長は県内最高水準の地域手当をめざすことや、ガソリンの高騰に対し、通勤手当の引き上げなど、「統一交渉日に結集し前進を勝ち取る」と提起し、全ての議案が満場一致で可決された。

### 2024年4月リニューアル! もっと安心の保障に!

おかげさまで70周年

## 新 住まいる共済

火災共済・自然災害共済

こくみん共済 coop では、住まいる共済70周年を機に、みんなで無保障者をなくす活動に取り組んでいます。見積もりを依頼いただくと、被災地応援の社会貢献にもつながります。この機会にぜひお見積もりを!

**みんなで 無保障者をなくそう**

見積もり依頼をいただいた方全員

見積書は、もしもの100のチラシとともに「新住まいる共済クリアファイル」へ入れてお渡します。

防災にまつわる100のトピックスをまとめました。

こくみん共済 NEWS 6524B002

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

### 自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

お見積もりチラシやキャンペーンの詳細については、所属の組合までお問い合わせください。

全労済自治労共済本部資料より引用